



2020年4月28日

各 位

会 社 名 株式会社ジャパンディスプレイ
代 表 者 名 代表取締役社長兼 CEO 菊岡 稔
(コード番号：6740 東証一部)
問 合 せ 先 執行役員 経営企画本部長 大河内聡人
兼 ファイナンス本部長
(TEL. 03-6732-8100)

ガバナンス向上委員会の設置に関するお知らせ

当社は、過年度決算における不適切な会計処理（以下「本件」といいます。）に関し、2020年4月13日に、第三者委員会より調査報告書を受領いたしました。当社は、今回の事態を厳粛に受け止め、内部統制に係る不備の是正、今後の経営体制及びガバナンス体制の強化、再発防止策の着実な実行を推進するため、本日開催の取締役会において、社外メンバーが過半数を占める「ガバナンス向上委員会」（以下「本委員会」といいます。）を設置することを決議いたしましたので、以下のとおりお知らせいたします。

今般設置するガバナンス向上委員会のもとで、再発防止に向けた改革に真摯に取り組み、全てのステークホルダーの皆さまからの信頼回復に最善を尽くしてまいりますので、何卒ご理解いただきますとともに、引き続きのご支援を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

1. ガバナンス委員会設置の目的

本委員会設置の目的は、①本件の原因及び当社のガバナンス上の問題点を分析し、②ガバナンス上の問題点の改善策及び本件の再発防止策を検討、策定し、③再発防止策の運用に対するモニタリングを行い、もって当社のガバナンスに対する信頼を回復することにあります。

2. ガバナンス向上委員会の構成

委員長 スコット キャロン（代表取締役会長）
委 員 菊岡 稔（代表取締役社長）
委 員 栗田 良輔（独立社外取締役）
委 員 井上 寅喜（株式会社アカウンティング アドバイザリー代表取締役社長 公認会計士）
委 員 藤津 康彦（森・濱田松本法律事務所パートナー 弁護士）

井上寅喜委員は、財務経理のプロフェッショナルとして、会計はもとより企業のガバナンスに関する幅広い知見を有しております。藤津康彦委員は、法律のプロフェッショナルとして、法律はもとより企業のガバナンスに関する幅広い知見を有しており、また、本件の調査のために当社が設置した特別調査委員会の委員長を務めました。

3. 現時点で検討しているガバナンス改善策及び再発防止策

(1) ガバナンス改革

- ① 取締役会による相互監視監督機能の強化
- ② 監査役監査の方法の見直し
- ③ 三様監査の連携の強化
- ④ 経営陣の意識改革
- ⑤ 企業風土の改善、コンプライアンス意識の改革

(2) 会計処理、経理部門の改善

- ① 経理部門の人員の質量両面の強化、および人材の育成を含めた適切なローテーション
- ② 会計処理に係る社内ルールの特確化と運用の徹底
- ③ 会計処理に対する統制活動の強化と運用

(3) 内部統制機能強化

- ① 内部通報制度の強化
通報窓口の見直しと再周知、制度・匿名性の厳格な担保について周知徹底
- ② 内部監査の対象拡充と方法の見直し

以上